

# 月の舟通信

2016年4月 No.54

## 五四、ふたつの翼

霧島路の山桜、山吹が咲きました。四季の巡りの美しさを身体全体で感じる季節。列車通勤で桜島と錦江湾を眺めながら頂く水筒の熱い紅茶の美味しさ。片道一時間は長いけど、霧島に住んだからこそ味わえる贅沢です。

同じように「月の舟」を開設したことで、古今東西の名作に浸る贅沢を再認識しています。文学って、楽しい！素晴らしい先生方に恵まれ、熱心な受講生の皆様に恵まれ、充実した講座が展開されていることを心から感謝いたします。四月から、「みたけきみこのしあわせトーク」の時間を設けました。短大の非常勤講師として、文学の講義に入る前に話した「しあわせトーク」が若者たちに好評なので、「月の舟」でもやってみようと思いついた次第。「ありがたいの魔法力」「上機嫌で生きる」「他人を尊重する」「愛について」「男と女に

## きみことワインを 2016

ついて」などお話しします。ときにはサプライズゲストもお招きして、おいしいお菓子とお茶を用意しますので、気軽にお越しください。四月「みんなの」シリーズは、四月が角田光代、五月が宮沢賢治。素敵なゲストとともに、わいわいおしゃべりしましょう。

四月十日「ブンガクの建築論」、月の舟のホープ小林潤司先生に、今回違う視点からのイベントをプロデュースして頂きました。ワクワクする企画です。今年はシェイクスピア生誕四百年ということ、四月二日は「ハムレット」再講義。四月九日は理事長のリードで、中勘助「銀の匙」を読みます。五月八日は月の舟ピアノ講師「室屋麗華コンサート」を開催。四月の文学散歩は花見を兼ねて、五代友厚生誕地への「びっくりポイント」コース、五月は宮崎へ遠出して若山牧水文学散歩。とっても愉

しい素敵なおコースになりましたよ。どのイベント・講座もたくさんのご参加をお待ちしております。

「月の舟」瞑想・タロットクラスの大久保聖子先生に薦められて読んだ『悟りのシンクロニシティ』に紹介されたOSHIOの言葉より、新しい種類の人間が必要だ。

ふたつの翼を持つている人間が。ひとつは、知識、科学、技術の翼、もうひとつは瞑想、悟り、愛、自由の翼だ。その両方が深いシンクロニシティ、深い調和の中で使われるとき、人間は全体的になる。

わたしたちは、お金や知識を増やすことに生き急いで、愛や自由を忘れがち。片翼でぎこちなく生きています。両翼で生きること为中心が定まり、心の安定、平和が保てます。「月の舟」では、ふたつの翼のどちらにも力を注ぎます。多彩な「月の舟」の講座でふたつの翼を磨いて、春爛漫のこの素晴らしい世界に力強く美しく飛び立ちましょう。(みたけきみこ)